

個別機能訓練 歩行訓練特集

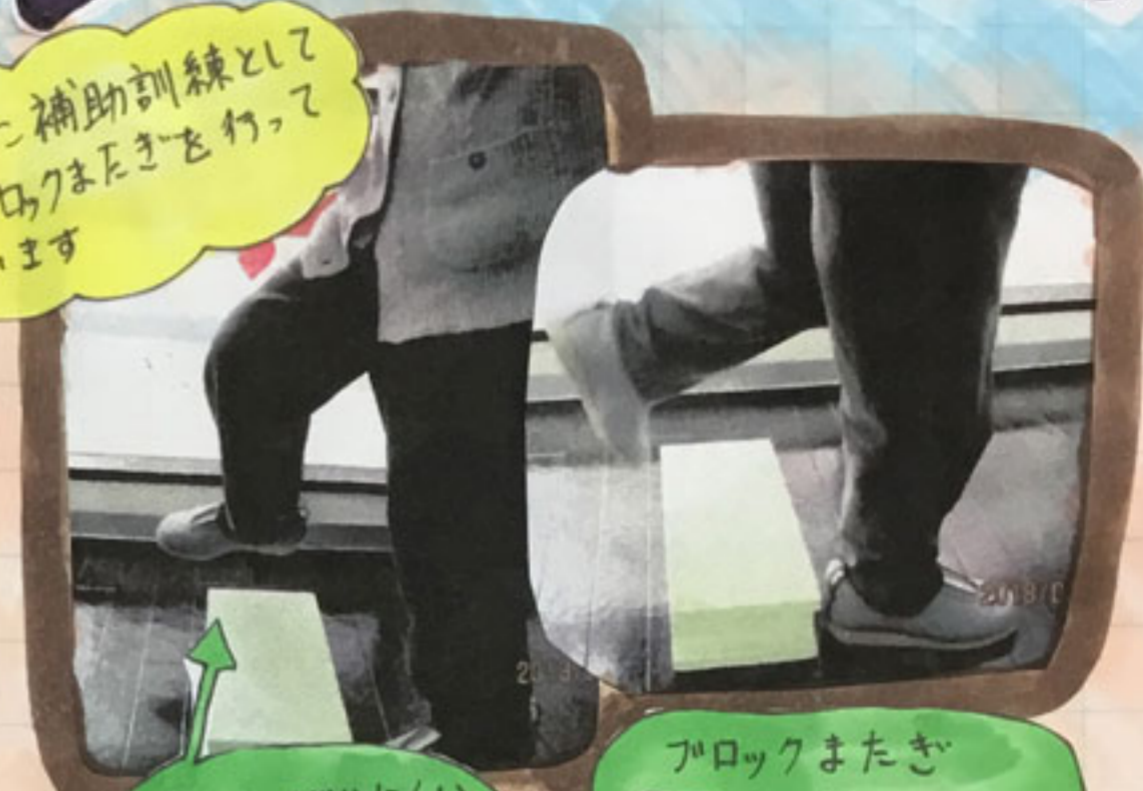
ヒューマンライフケア 星川通信

ケース1 段差の昇降訓練

A様はご自宅2Fに居住されているため、階段の昇り降りを維持できるような訓練を計画しました。



更に補助訓練としてブロックまたぎを行っています



ステップ台昇降訓練
昇りはステップ台から足がはみ出さないようお声かけし、台の上でも安定感を保てるようにします。

降りる時はつま先から！
足底を一気に叩くようにしてしまうと足首や膝に衝撃が走ります。

足が上がりにくい人はブロックの外側に足が逃げてしまう傾向にあります。

- ブロックまたぎ
- ①足を上げるため
 - ②歩幅を広くするため
 - ③注意力を身に付ける
 - ④空間認識力を高める

ケース2 杖歩行、スロープ昇降訓練

I様は、ご自宅近くのスロープのある公園をご家族様と散歩できたら良いなという事で、スロープの昇り降りを訓練に組み込みました。
また、杖の使い方がわからないというお話だったので、杖の使い方も訓練に入れさせていただきました。

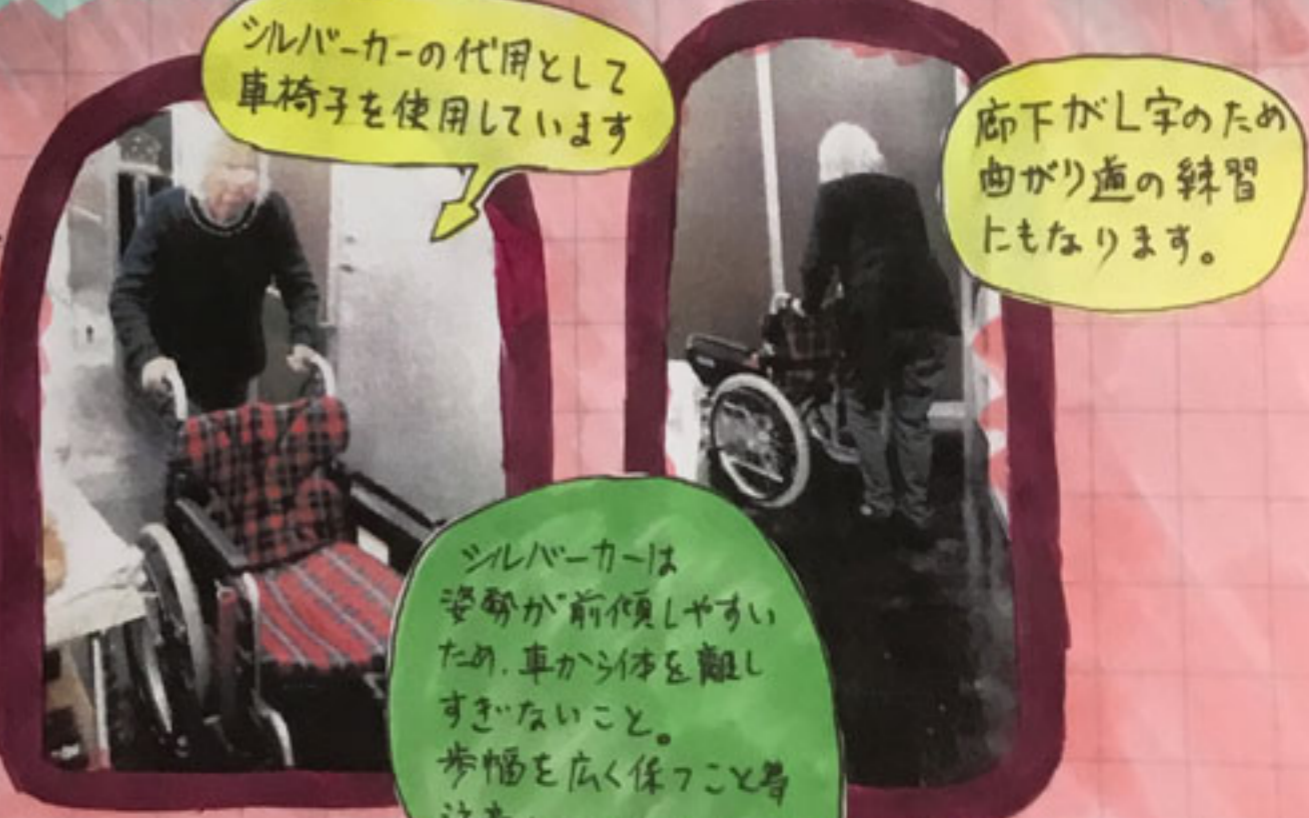


右手で杖をつく場合は左足と同時に杖をつきます。自然に歩行する時の手足の関係と同じです

ヒューマン星川は浴場まで3mくらいのゆるいスロープがあります。訓練の条件にピッタリです

ケース3 普段歩行器を使用する方の歩行練習

Y様は、ご自宅から500m先のバス停までシルバーカーを使ってお出かけです。ゆくりで休み休みの歩行のため、休まずバス停まで歩けるようになったら理想的という事で、往復20mの廊下を10往復休まず歩行する訓練を計画しました。



シルバーカーの代用として車椅子を使用しています

廊下がL字のため曲がり直の練習にもなります。

シルバーカーは姿勢が前傾しやすいので、車から身体を離すきかないこと。歩幅を広く保つこと等注意しながら行っています

ヒューマンライフケア星川
デイサービス
TEL 045-332-9522
FAX 045-341-2370